



白神山地世界遺産地域等の環境保全等に関する行政評価・監視

《調査結果に基づく所見表示》

「行政評価・監視」は、東北管区行政評価局が行う行政改善活動の一つで、行政の運営全般を対象として、主に合規性・適正性等の観点から評価を行い、行政運営の改善を推進するものです。

この行政評価・監視は、**全国で初めて** 世界遺産地域を対象として実施したものです。

- 白神山地世界遺産地域等の原生林を歩いて、**保護・管理、利用等の状況** を実地踏査（東北管区行政評価局が企画立案し、青森・秋田行政評価事務所と合同で調査）
- 白神山地を訪れた **一般利用者147人及び有識者74人(計221人)に聞き取り調査** を実施
- 調査結果は、平成17年12月20日、**東北地方環境事務所** 及び **東北森林管理局** に対して所見表示

総務省のシンボルマークのコンセプト

日本の国土を示す四角い枠から勢いよく飛び出していく球体は、総務省の姿を表し、国民の目につきにくい社会基盤も支えつつ、国と地方、国と国民、国民と生活、国民と海外といった要素を情報ネットワーク化によって密接に結びつけ、これまでの活動領域にとどまらない創造性豊かな活動を表しています。

<本件照会先>

総務省東北管区行政評価局
第二部第1評価監視官 三上 信雄
(電話) 022-262-9234

概 略

背 景

白神山地世界遺産地域とは？

- ★ 青森県と秋田県にまたがるブナを主体とする原始的な落葉広葉樹林が残存し、動植物の多様性で世界的に特異な山岳地帯 → **極めて貴重な我が国の財産！**
- ★ 平成5年12月、世界自然遺産に登録
→ 白神山地のうち16,971 ha（全域が国有林）
（核心地域 10,139 ha、緩衝地域 6,832 ha）

所見表示事項

- 1 効果的・効率的な巡視の実施
外来植物の侵入防止対策
入山カウンターの的確な配置
- 2 標識、安全施設等の総点検、適切な改善
入山届出の励行確保
- 3 世界遺産の価値及び保護意識に係る普及啓発の充実

白神山地世界遺産地域管理計画

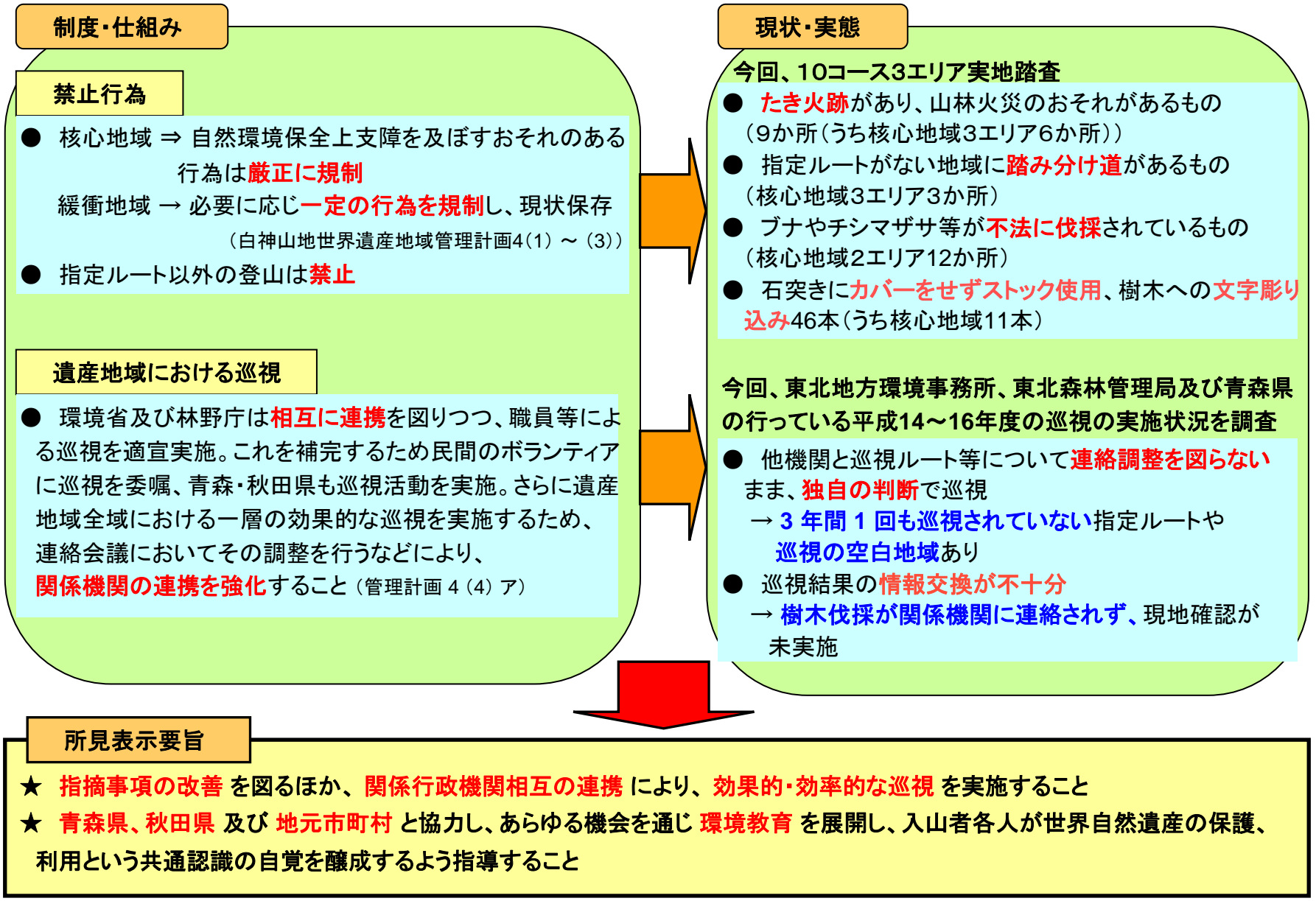
- ★ 関係行政機関（東北地方環境事務所、東北森林管理局など）が**一体となって適正かつ円滑な管理**を行うための基本的方針を明示

- ★ 登山者、観光客の増加
→ **たき火、樹木の不法伐採等により白神山地世界遺産地域の環境保全上支障を及ぼす恐れ**
- ★ 登山道、標識等の施設
→ **管理状況に問題あり**

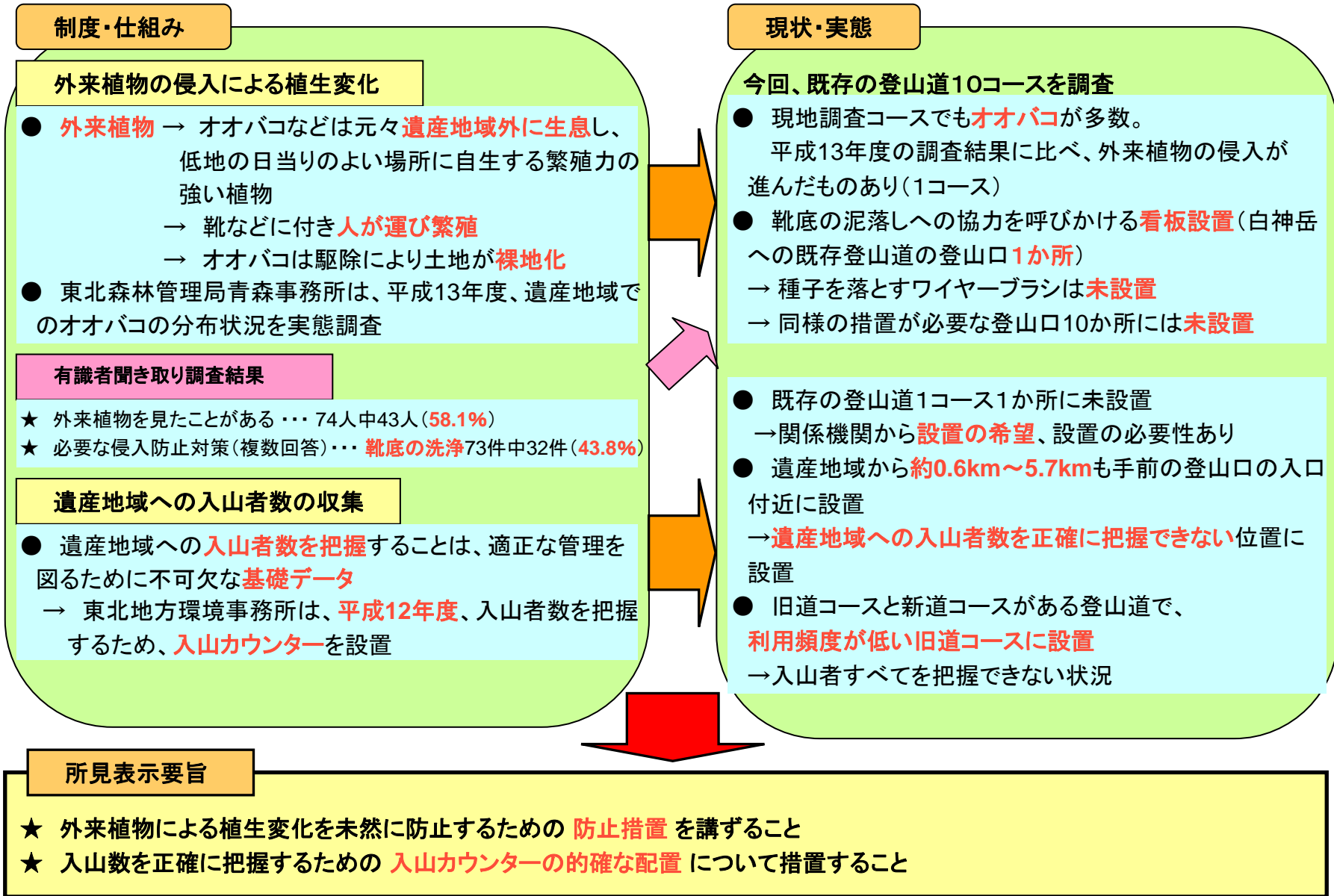
- ★ 白神山地世界遺産地域内外（10コース3エリア）を**実地踏査**
- ★ **聞き取り調査**（一般利用者 147人、有識者 74人）を実施

東北地方環境事務所
東北森林管理局
平成17年12月20日

所見表示 1 (1) 白神山地世界遺産地域の巡視方法の見直し(保護・管理)



所見表示 1 (2) 外来植物の防止対策、入山カウンターの的確な配置(保護・管理)



所見表示 2 危険な登山道、標識等の改善、入山届出の励行確保（利用）

